



SPARX

■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／国内／株式 | |
| 信託期間 | 2007年1月31日から2045年1月25日まで | |
| 運用方針 | この投資信託は、主としてスパークス・日本中小型株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本の金融商品取引所上場株式を中心に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目標に積極的な運用を行います。 | |
| 主要運用対象 | ベビーファンド | 主としてスパークス・日本中小型株・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所上場株式に実質的に投資します。 また、資金動向・市況動向等によってはわが国の金融商品取引所上場株式等に直接投資することもあります。 |
| | マザーファンド | わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | ベビーファンド | ①株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以内とします。 |
| | マザーファンド | ①株式への投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以内とします。 |
| 分配方針 | <p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収入および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、分配を行わないこともあります。 ・留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 | |

スパークス・M&S・ ジャパン・ファンド

愛称 **華咲く中小型**

第18期 運用報告書(全体版)

(決算日 2025年1月27日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、『スパークス・M&S・ジャパン・ファンド』は、このたび、第18期の決算を行いました。
ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社
東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス

< お問い合わせ先 >

リテール・ビジネス・デベロップメント部
電話：03-6711-9200(代表)

受付時間：営業日の9時～17時

ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

■ 最近5期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 価 額 | | | ベンチマーク | | 株 式 組入比率 | 投資証券 組入比率 | 純資産 総 額 |
|-----------------|---------|------------|------------|----------|------------|-------------|--------------|------------|
| | (分配落) | 税込み 分配金 | 期 中 騰落率 | | 期 中 騰落率 | | | |
| | 円 | 円 | % | | % | % | % | 百万円 |
| 14期(2021年1月25日) | 30,835 | 350 | 11.7 | 961.71 | 9.9 | 95.3 | 1.3 | 9,624 |
| 15期(2022年1月25日) | 29,394 | 350 | △ 3.5 | 966.24 | 0.5 | 95.7 | — | 7,215 |
| 16期(2023年1月25日) | 32,023 | 350 | 10.1 | 1,048.74 | 8.5 | 95.2 | — | 8,356 |
| 17期(2024年1月25日) | 36,692 | 360 | 15.7 | 1,344.61 | 28.2 | 97.4 | — | 17,529 |
| 18期(2025年1月27日) | 40,246 | 390 | 10.7 | 1,471.90 | 9.5 | 98.1 | — | 14,979 |

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドのベンチマークは、「ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)」です。

(注4) ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)は、Russell/Nomura日本株インデックスのサイズ別指数です。Russell/Nomura日本株インデックスは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(以下「NFR」といいます。)が公表している指数で、その知的財産権はNFR及びRussell Investmentsに帰属します。なお、NFR及びRussell Investmentsは、ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社がラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

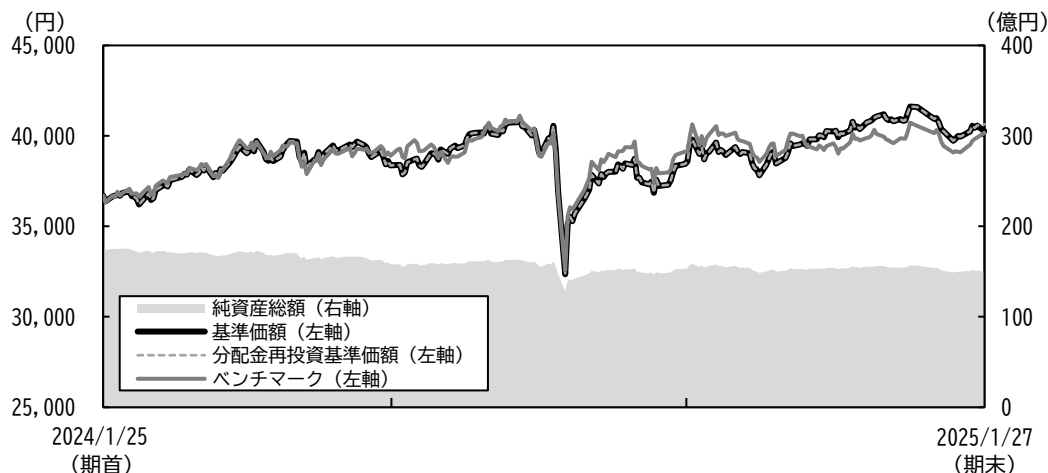
| 年 月 日 | 基 準 価 額 | | ベンチマーク | | 株 式 組入比率 | 投資証券 組入比率 |
|------------|---------|-------|----------|-------|-------------|--------------|
| | | 騰 落 率 | | 騰 落 率 | | |
| (期 首) | 円 | % | | % | % | % |
| 2024年1月25日 | 36,692 | — | 1,344.61 | — | 97.4 | — |
| 1月末 | 36,766 | 0.2 | 1,352.54 | 0.6 | 97.6 | — |
| 2月末 | 37,846 | 3.1 | 1,387.92 | 3.2 | 97.3 | — |
| 3月末 | 39,713 | 8.2 | 1,453.56 | 8.1 | 97.0 | — |
| 4月末 | 39,469 | 7.6 | 1,438.16 | 7.0 | 97.1 | — |
| 5月末 | 38,527 | 5.0 | 1,444.80 | 7.5 | 97.7 | — |
| 6月末 | 40,160 | 9.5 | 1,459.12 | 8.5 | 97.3 | — |
| 7月末 | 40,558 | 10.5 | 1,471.44 | 9.4 | 98.1 | — |
| 8月末 | 38,473 | 4.9 | 1,442.90 | 7.3 | 97.4 | — |
| 9月末 | 38,998 | 6.3 | 1,446.67 | 7.6 | 95.6 | — |
| 10月末 | 39,131 | 6.6 | 1,450.44 | 7.9 | 96.1 | — |
| 11月末 | 40,115 | 9.3 | 1,439.77 | 7.1 | 96.5 | — |
| 12月末 | 41,588 | 13.3 | 1,485.80 | 10.5 | 98.0 | — |
| (期 末) | | | | | | |
| 2025年1月27日 | 40,636 | 10.7 | 1,471.90 | 9.5 | 98.1 | — |

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「投資証券組入比率」は実質比率を記載しております。

■ 運用経過

1) 基準価額等の推移 (2024年1月26日～2025年1月27日)



第18期首 : 36,692円

第18期末 : 40,246円(既払分配金390円)

騰落率 : 10.7%(分配金再投資ベース)

※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

※ ベンチマークは「ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)」です。

※ ベンチマークは期首(2024年1月25日)の基準価額に合わせて指数化しております。

2) 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、スパークス・日本中小型株・マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)を通じて、日本の中小型株式に投資しております。当期は日本株式市場が上昇する運用環境の中、弊社独自の個別調査に基づき、独自の競争力を持ち長期的な利益成長が期待できる企業へ選別投資いたしました結果、基準価額は期首に比べ10.7%(分配金再投資ベース)上昇しました。

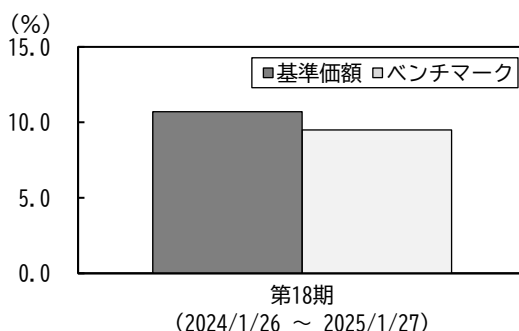
3) ベンチマークとの差異

当期の当ファンドの騰落率は10.7%となり、ベンチマークの騰落率の9.5%を上回りました。

ベンチマークとの比較においては、業種効果、銘柄選択効果ともにプラスとなりました。業種単位では機械、その他製品、電気機器などがプラスに、保険業、非鉄金属、化学などがマイナスに影響しました。

※ ベンチマークは、「ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)」です。

当ファンドの基準価額とベンチマークの対比(期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 投資環境

当期の日本株式市場は、通期で上昇して終了しました。上半期は、前年に続き企業業績の成長や資本効率の改善が進んだことで、大幅に株価が上昇しました。下半期は、日銀の利上げに端を発した急落、その後の急反発と、不安定な局面があったものの、2024年初秋から年末にかけては一定の範囲内での推移となりました。

■ ポートフォリオ

< スパークス・M&S・ジャパン・ファンド >

当ファンドは、マザーファンドを通じて、日本の中小型株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行うことを基本とします。マザーファンドの組入比率は高水準を維持しました。このため基準価額は、マザーファンドに組み入れられた資産の変動の影響を大きく受けました。

< スパークス・日本中小型株・マザーファンド >

当ファンドでは、弊社独自の個別調査に基づき、独自の競争力を持ち長期的な利益成長が期待できる企業へ選別投資いたします。また、市場における過度な悲観や関心の低下により、弊社が計測する長期的な企業価値に対して割安に放置されていると考える企業にも投資を行います。

当ファンドでは、あらかじめ業種毎の比率を決めてから銘柄を組み入れるのではなく、ボトムアップ・リサーチに基づき投資魅力が高いと考える銘柄を選別し、株価上昇余地やリスク要因、株式の流動性や株価が再評価されるまでの時間軸等を考慮して、ポートフォリオを構築しています。

当期においては、半導体工場やインフラ維持の投資でニーズが高まっている建機レンタルのカナモト、成熟したカラオケ市場で積極的に出店しシェアを高めているコシダカホールディングス、ニッチながら競争力の高い製品群を有する日産化学などに投資を行いました。

一方で、サービス事業への転換が進みつつあるNECネットエスアイ、自動車部品需要の回復が期待された椿本チエイン、AI(人工知能)半導体の製造に欠かせない装置を製造するTOWAなどの株式を売却しました。各銘柄とも、株価上昇により本源的価値との乖離が縮小したと判断したことが売却の理由です。

(主なプラス要因)

当期のパフォーマンスに貢献した主な銘柄は、武蔵精密工業、NECネットエスアイ、J. フロントリテイリングなどです。

武蔵精密工業は、シャフトやギア等を扱うホンダ系列の自動車部品メーカーです。当ファンドでは、電気自動車向けの新規部品採用により一台当たり単価の上昇が見込まれると判断し投資を行っています。当期においては、新事業として展開するデータセンター向けキャパシタ(コンデンサ)事業の成長期待から株価は上昇しました。

NECネットエスアイは、NEC系の通信工事会社です。当ファンドでは、ネットワークインテグレーションやシステムソリューションなど、提供サービスの付加価値向上に伴い企業価値が向上しているにも関わらず市場評価が低位にとどまっていると判断し、投資を行っています。当期においては、NECによるTOBが発表されたことを受け株価は上昇しました。

J. フロントリテイリングは、大丸松坂屋百貨店、PARCO、GINZA SIXなどを運営する企業です。当ファンドでは、インバウンド需要の回復のみならず、PARCOのブランド価値向上に伴う業績成長が可能と判断し投資を行っています。当期においては、インバウンド需要の増加や、PARCOの業態転換の順調な進捗に伴い好調な業績が続いていることを受け株価は上昇しました。

(主なマイナス要因)

当期のパフォーマンスにマイナスに影響した主な銘柄は、バリューコマース、五洋建設、LITALICOなどです。

バリューコマースは、アフィリエイト広告(成果報酬型広告)の大手で、ヤフーとの関係が強かった会社です。当ファンドでは、Amazonや楽天に劣るYahoo!ショッピングを成長させるために、同社商材を用いた販売促進が伸びると考え投資を行っていました。当期においては、通期決算で発表された計画が大幅に市場の期待を下回るものとなり、株価が下落しました。業績成長に対する蓋然性が低下したことを受け売却しております。

五洋建設は、海上土木に強みを持つ準大手ゼネコンです。当ファンドでは、海外の不採算案件の影響が剥落し、国内の旺盛な建設需要を取り込んで業績拡大ができると考え、投資を行っています。当期においては、国内の土木で一部案件が不採算化したことにより業績回復が遅れ、株価が下落しました。

LITALICOは、障害者向けの就労支援や児童福祉事業を行う施設を運営する企業です。当ファンドでは、就労支援事業やプラットフォーム事業の成長により今後も業績拡大が見込まれると判断し投資を行っています。当期においては、児童福祉事業の稼働率が低下したことを受け株価は下落しました。

〔組入上位10銘柄〕

前期末(2024年1月25日)

| | 銘柄名 | 比率(%) |
|----|-------------|-------|
| 1 | NEC ネットエスアイ | 4.3 |
| 2 | 前田工織 | 3.5 |
| 3 | 九電工 | 3.2 |
| 4 | 日本光電工業 | 2.7 |
| 5 | 東京応化工業 | 2.5 |
| 6 | アルバック | 2.5 |
| 7 | 五洋建設 | 2.5 |
| 8 | タダノ | 2.4 |
| 9 | TOWA | 2.1 |
| 10 | ダイヘン | 2.1 |

※ 比率は対純資産(マザーファンドベース)

当期末(2025年1月27日)

| | 銘柄名 | 比率(%) |
|----|----------------|-------|
| 1 | 前田工織 | 4.1 |
| 2 | J. フロント リテイリング | 2.7 |
| 3 | リログループ | 2.6 |
| 4 | NITTOKU | 2.4 |
| 5 | 五洋建設 | 2.3 |
| 6 | 日精エー・エス・ビー機械 | 2.3 |
| 7 | 武蔵野銀行 | 2.3 |
| 8 | タダノ | 2.2 |
| 9 | ダイヘン | 2.2 |
| 10 | 武蔵精密工業 | 2.2 |

※ 比率は対純資産(マザーファンドベース)



■ 今後の運用方針

＜ スパークス・M&S・ジャパン・ファンド ＞

マザーファンドの組入比率は、引き続き高水準を維持し、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。

＜ スパークス・日本中小型株・マザーファンド ＞

関税の大幅な引き上げをはじめとするトランプ米大統領の掲げる政策への警戒感、また本年1月後半には、非常に安価な費用で開発された中国製AI「DeepSeek」の登場を受けて生成AI関連に対する設備投資の減速懸念が急速に高まるなど、不安定な相場展開が続いています。しかし、低コストAIの登場は中期的にAI開発の促進やAI技術の社会導入加速につながり、潜在的な事業拡大余地は広がっていくものと当ファンドは考えており、過度な懸念は不要であると判断しています。また、日本経済において賃金と物価の好循環が進展しつつある点は、他国には見られない稀有な特徴であると考えます。引き続き、ボトムアップ・リサーチを通じ、市場から見落とされている投資機会の発掘に努めてまいります。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、分配対象額の水準等を勘案し、1万口当たり390円(税込み)とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった利益(留保益)につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税込み)

| 項 目 | 第18期 (2024年1月26日～ 2025年1月27日) |
|--------------------|-------------------------------------|
| 当期分配金 (対基準価額比率) | 390 (0.96%) |
| 当期の収益 | 390 |
| 当期の収益以外 | － |
| 翌期繰越分配対象額 | 30,246 |

- (注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注2) 該当欄に数値がない場合は「－」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。
- (注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

| 項 目 | 当期 2024年1月26日～2025年1月27日 | | 項 目 の 概 要 |
|----------------------------|-----------------------------|--------------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) | 812円 (478) | 2.067% (1.217) | (a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価 |
| (販 売 会 社) | (304) | (0.774) | ・ 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 |
| (受 託 会 社) | (30) | (0.076) | ・ ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) | 16 (16) | 0.041 (0.041) | (b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・ 有価証券等を売買する際に発生する費用 |
| (c) そ の 他 費 用 | 9 | 0.023 | (c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| (監 査 費 用) | (3) | (0.008) | ・ 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (印 刷 費 用) | (6) | (0.015) | ・ 法定書類等の作成、印刷費用 |
| 合 計 | 837 | 2.131 | |
| 期中の平均基準価額は39,279円です。 | | | |

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

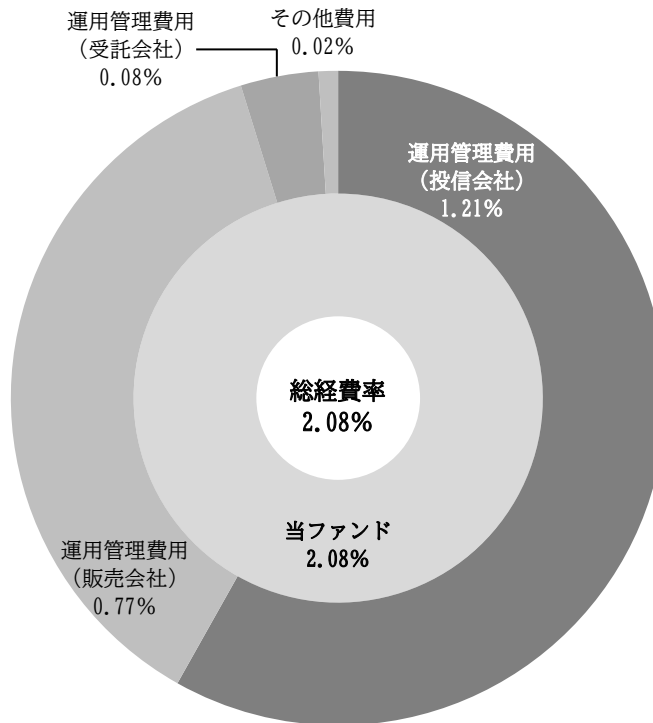
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.08%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況（2024年1月26日から2025年1月27日まで）

| 項 目 | 設 定 | | 解 約 | |
|----------------------|---------|-----------|---------|-----------|
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| スパークス・日本中小型株・マザーファンド | 218,192 | 1,565,824 | 842,502 | 6,100,380 |

(注) 単位未満は切り捨て。

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 |
|-------------------------------|--------------|
| (a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額 | 9,586,312千円 |
| (b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額 | 16,675,305千円 |
| (c) 売 買 高 比 率 (a) / (b) | 0.57 |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■ 親投資信託における主要な売買銘柄（2024年1月26日から2025年1月27日まで）

株 式

| 買 付 | | | | 売 付 | | | |
|--------------------|-------|---------|-------|------------------|-------|---------|--------|
| 銘 柄 | 株 数 | 金 額 | 平均単価 | 銘 柄 | 株 数 | 金 額 | 平均単価 |
| | 千株 | 千円 | 円 | | 千株 | 千円 | 円 |
| カナモト | 97.9 | 280,703 | 2,867 | NEC ネットエスアイ | 251.3 | 652,588 | 2,596 |
| コシダカホールディングス | 281.5 | 255,258 | 906 | 椿本チエイン | 90.8 | 452,144 | 4,979 |
| 日産化学 | 52.2 | 254,943 | 4,883 | TOWA | 39.4 | 440,378 | 11,177 |
| L I T A L I C O | 203.1 | 243,939 | 1,201 | 丸電工 | 66.2 | 408,904 | 6,176 |
| オプテックスグループ | 104.4 | 183,522 | 1,757 | シップヘルスケアホールディングス | 143.3 | 339,511 | 2,369 |
| パラマウントベッドホールディングス | 67.5 | 175,243 | 2,596 | アルバック | 36.3 | 337,454 | 9,296 |
| Genky DrugStores | 53.8 | 171,378 | 3,185 | バリューコマース | 230.3 | 274,862 | 1,193 |
| やまみ | 41.3 | 165,750 | 4,013 | ライオン | 144.6 | 253,339 | 1,752 |
| 関東電化工業 | 122.8 | 119,599 | 973 | 東京応化工業 | 58.8 | 252,148 | 4,288 |
| 西日本フィナンシャルホールディングス | 57.7 | 111,849 | 1,938 | 富士紡ホールディングス | 46.2 | 206,502 | 4,469 |

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等（2024年1月26日から2025年1月27日まで）

- (1) 当期中の利害関係人との取引状況
当期中における利害関係人との取引はありません。
- (2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高
該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況（2024年1月26日から2025年1月27日まで）

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況（2024年1月26日から2025年1月27日まで）

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細（2025年1月27日現在）

親投資信託残高

| 項 目 | 前 期 末 | 当 期 末 | |
|----------------------|-----------|-----------|------------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 |
| スパークス・日本中小型株・マザーファンド | 2,564,267 | 1,939,956 | 14,947,367 |

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況（2025年1月27日現在）

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成（2025年1月27日現在）

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-------------------------|------------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| スパークス・日本中小型株・マザーファンド | 14,947,367 | 97.4 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 401,924 | 2.6 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 15,349,291 | 100.0 |

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年1月27日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|---------------------------|------------------|
| (A)資 産 | 15,349,291,888 円 |
| コール・ローン等 | 338,749,305 |
| スパークス・日本中小型株・マザーファンド(評価額) | 14,947,367,768 |
| 未 収 入 金 | 63,171,567 |
| 未 収 利 息 | 3,248 |
| (B)負 債 | 369,331,844 |
| 未 払 収 益 分 配 金 | 145,160,489 |
| 未 払 解 約 金 | 63,171,567 |
| 未 払 信 託 報 酬 | 159,155,087 |
| そ の 他 未 払 費 用 | 1,844,701 |
| (C)純 資 産 総 額 (A-B) | 14,979,960,044 |
| 元 本 | 3,722,063,832 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | 11,257,896,212 |
| (D)受 益 権 総 口 数 | 3,722,063,832 口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 40,246 円 |

<注記事項(当期の運用報告書作成時では監査未了)>

| | |
|-----------|-----------------|
| ① 期首元本額 | 4,777,600,665 円 |
| 期中追加設定元本額 | 401,146,812 円 |
| 期中一部解約元本額 | 1,456,683,645 円 |

■ 損益の状況

当期 (自2024年1月26日 至2025年1月27日)

| 項 目 | 当 期 |
|--------------------|------------------|
| (A)配 当 等 収 益 | 37,698 円 |
| 受 取 利 息 | 40,810 |
| 支 払 利 息 | △ 3,112 |
| (B)有 価 証 券 売 買 損 益 | 1,732,274,142 |
| 売 買 損 益 | 1,999,620,711 |
| 売 買 損 益 | △ 267,346,569 |
| (C)信 託 報 酬 等 | △ 332,354,801 |
| (D)当期損益金(A+B+C) | 1,399,957,039 |
| (E)前期繰越損益金 | 1,881,908,545 |
| (F)追加信託差損益金 | 8,121,191,117 |
| (配当等相当額) | (4,510,566,437) |
| (売買損益相当額) | (3,610,624,680) |
| (G)合 計 (D+E+F) | 11,403,056,701 |
| (H)収 益 分 配 金 | △ 145,160,489 |
| 次期繰越損益金(G+H) | 11,257,896,212 |
| 追加信託差損益金 | 8,121,191,117 |
| (配当等相当額) | (4,510,566,437) |
| (売買損益相当額) | (3,610,624,680) |
| 分配準備積立金 | 3,136,705,095 |
| 繰 越 損 益 金 | 0 |

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

② 分配金の計算過程

| 項 目 | | 第 18 期 |
|------------------------------|---|-----------------|
| 費用控除後の配当等収益額 | A | 37,698円 |
| 費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券等損益額 | B | 1,399,881,072円 |
| 収益調整金額 | C | 8,121,191,117円 |
| 分配準備積立金額 | D | 1,881,946,814円 |
| 当ファンドの分配対象収益額 (E=A+B+C+D) | E | 11,403,056,701円 |
| 当ファンドの期末残存口数 | F | 3,722,063,832口 |
| 1万口当たり収益分配対象額 (G=E/F×10,000) | G | 30,636.38円 |
| 1万口当たり分配金額 | H | 390円 |
| 収益分配金金額 (I=F×H/10,000) | I | 145,160,489円 |

■ 分配金のお知らせ

| | |
|----------------|------|
| 1万口当たり分配金(税込み) | 390円 |
|----------------|------|

- ◇ 分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払を開始しております。
- ◇ 分配金を再投資される方のお手取分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◇ 課税上の取り扱い
 - ・ 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
 - ・ 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

※ 詳細につきましては、税務専門家等に確認されることをお勧めします。
 なお、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

■ お知らせ

該当事項はありません。

< 補足情報 >

■ 組入資産の明細 (2025年1月27日現在)

下記は、スパークス・日本中小型株・マザーファンド全体(2,090,390千口)の内容です。

国内株式

| 銘 柄 | 期 首 (前期末) | 当 期 末 | |
|-----------------|--------------|-------|---------|
| | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| 建設業(4.1%) | | | |
| 日本アクア | 121.9 | — | — |
| 五洋建設 | 575 | 575 | 374,555 |
| 九電工 | 117.1 | 50.9 | 269,770 |
| 食料品(4.0%) | | | |
| アリアケジャパン | 60 | 60 | 309,000 |
| やまみ | — | 41.3 | 143,517 |
| わらべや日洋ホールディングス | 56.3 | 87.1 | 179,164 |
| 繊維製品(1.1%) | | | |
| 富士紡ホールディングス | 46.2 | — | — |
| オンワードホールディングス | 440.8 | 271.7 | 168,454 |
| 化学(9.3%) | | | |
| 日産化学 | — | 52.2 | 248,628 |
| 関東電化工業 | 241.8 | 333.1 | 318,776 |
| 東京応化工業 | 133.2 | 74.4 | 275,056 |
| ダイセル | 260.4 | 257.1 | 353,769 |
| 住友ベークライト | 35.8 | 71.6 | 271,936 |
| ライオン | 144.6 | — | — |
| 医薬品(1.6%) | | | |
| ペプチドリーム | 141.5 | 117.8 | 246,673 |
| ガラス・土石製品(1.1%) | | | |
| ノリタケ | 15.8 | — | — |
| ニチハ | 62.5 | 62.5 | 178,812 |
| 金属製品(3.8%) | | | |
| RS Technologies | 78.1 | 78.1 | 237,033 |
| ジーテクト | 104.6 | 88.7 | 149,016 |
| 東プレ | 171.4 | 115 | 219,880 |
| 機械(11.0%) | | | |
| オーエスジー | 90.6 | — | — |
| NITTOKU | 183.4 | 183.4 | 387,340 |
| やまびこ | — | 40.3 | 112,154 |
| ナプテスコ | 65.7 | 87.6 | 244,885 |
| 日精エー・エス・ビー機械 | 79.8 | 68.1 | 364,335 |
| TOWA | 48.5 | 27.3 | 54,217 |
| 月島ホールディングス | 157.8 | 157.8 | 227,389 |
| 帝国電機製作所 | 63.2 | — | — |
| 椿本チエイン | 79.6 | — | — |

| 銘 柄 | 期 首 (前期末) | 当 期 末 | |
|-------------------|--------------|-------|---------|
| | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| タダノ | 380.1 | 312.5 | 358,125 |
| 電気機器(7.0%) | | | |
| ダイヘン | 54.8 | 49.3 | 355,453 |
| アルバック | 61.3 | 25 | 151,950 |
| エレコム | — | 56.3 | 83,324 |
| 日本光電工業 | 110.9 | 156.7 | 347,874 |
| オプテックスグループ | — | 104.4 | 177,375 |
| 輸送用機器(2.2%) | | | |
| 武蔵精密工業 | 168.3 | 110.6 | 355,026 |
| その他製品(5.4%) | | | |
| パラマウントベッドホールディングス | — | 67.5 | 192,105 |
| 前田工繊 | 202.1 | 337.6 | 662,708 |
| 陸運業(4.0%) | | | |
| SBSホールディングス | 78.2 | 78.2 | 195,891 |
| 京阪ホールディングス | 79.1 | 79.1 | 258,182 |
| センコーグループホールディングス | 115.7 | — | — |
| 福山通運 | 50.5 | 50.5 | 187,355 |
| 情報・通信業(9.0%) | | | |
| NECネットエスアイ | 349 | 97.7 | 326,318 |
| 三菱総合研究所 | 65.4 | 47 | 220,665 |
| マクロミル | 324.6 | 212.6 | 266,387 |
| くふうカンパニーホールディングス | 272.6 | 272.6 | 57,246 |
| ラクスル | 123.7 | 123.7 | 170,334 |
| ウイングアーク1st | 56.5 | — | — |
| フューチャー | 177.7 | 158 | 281,872 |
| シーイーシー | — | 53.3 | 99,777 |
| 卸売業(3.0%) | | | |
| シップヘルスケアホールディングス | 143.3 | — | — |
| シークス | 37.7 | 37.7 | 43,204 |
| キャノンマーケティングジャパン | 40 | 40.8 | 202,612 |
| トラスコ中山 | 66.5 | 108.2 | 221,701 |
| 小売業(8.6%) | | | |
| ジーンズホールディングス | 41.1 | — | — |
| J. フロント リテイリング | 209.7 | 209.7 | 436,071 |
| トレジャー・ファクトリー | 198.5 | 181.9 | 301,226 |
| コスモス薬品 | 23.5 | 36.3 | 265,353 |
| サイゼリヤ | 63.4 | 41.7 | 199,743 |

| 銘 柄 | 期 首 (前期末) | 当 期 末 | |
|-------------------------------|--------------|-------|---------|
| | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| Genky DrugStores 銀行業(4.5%) | — | 53.8 | 167,587 |
| 西日本フィナンシャルホールディングス | 117.1 | 174.8 | 353,445 |
| 武蔵野銀行 | 102.1 | 118.4 | 363,488 |
| 保険業(—%) | | | |
| ライフネット生命保険 | 88.7 | — | — |
| 不動産業(1.6%) | | | |
| トーセイ | 106.9 | 106.9 | 256,773 |
| サービス業(18.6%) | | | |
| コンダカホールディングス | — | 281.5 | 292,197 |
| 学情 | 111.7 | 111.7 | 247,303 |
| バリューコマース | 230.3 | — | — |
| アミューズ | 58.1 | 58.1 | 86,743 |
| イオンファンタジー | 118.3 | 90 | 242,730 |
| サイバーエージェント | 285 | 285 | 319,770 |

| 銘 柄 | 期 首 (前期末) | 当 期 末 | |
|---------------|----------------------------|----------------|----------------|
| | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| クリーク・アンド・リバー社 | 92.4 | 88.3 | 147,284 |
| LITALICO | — | 203.1 | 177,509 |
| リログループ | 172.9 | 229.9 | 425,544 |
| TREホールディングス | 236.2 | 236.2 | 337,529 |
| INFORICH | 36.9 | 44.6 | 190,665 |
| カナモト | — | 97.9 | 303,000 |
| 丹青社 | 276.7 | 194.9 | 179,113 |
| 合 計 | 株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 > | 9,103 66 銘柄 | 8,325 64 銘柄 |
| | | 15,842,938 | <98.4%> |

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

スパークス・日本中小型株・マザーファンド

第 18 期

決算日 2024年11月20日

(計算期間：2023年11月21日～2024年11月20日)

「スパークス・日本中小型株・マザーファンド」は、2024年11月20日に第18期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第18期の運用状況をご報告申し上げます。

| | |
|--------|---|
| 運用方針 | 主としてわが国の金融商品取引所上場株式の中小型株式の中から、徹底したボトムアップ・リサーチに基づいて銘柄を選択し、ポートフォリオを構築します。 |
| 主要投資対象 | わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 株式への投資には、制限を設けません。 |

■ 最近5期の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | ベンチマーク | | 株式 組入比率 | 投資証券 組入比率 | 純資産 総額 |
|------------------|--------|-----------|----------|-----------|------------|--------------|-----------|
| | | 期中 騰落率 | | 期中 騰落率 | | | |
| | 円 | % | | % | % | % | 百万円 |
| 14期(2020年11月20日) | 49,384 | 9.9 | 902.88 | 2.4 | 95.4 | 1.3 | 10,386 |
| 15期(2021年11月22日) | 56,908 | 15.2 | 1,049.39 | 16.2 | 96.5 | — | 8,870 |
| 16期(2022年11月21日) | 57,512 | 1.1 | 1,050.03 | 0.1 | 97.0 | — | 7,110 |
| 17期(2023年11月20日) | 64,758 | 12.6 | 1,267.94 | 20.8 | 96.0 | — | 19,704 |
| 18期(2024年11月20日) | 75,553 | 16.7 | 1,442.89 | 13.8 | 96.1 | — | 16,464 |

(注1) 当ファンドのベンチマークは、「ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)」です。
(注2) ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)は、Russell/Nomura 日本株インデックスのサイズ別指数です。Russell/Nomura 日本株インデックスは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(以下「NFRC」といいます。)が公表している指数で、その知的財産権は NFRC 及び Russell Investments に帰属します。なお、NFRC 及び Russell Investments は、ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、スパークス・アセット・マネジメント株式会社がラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)を用いて行う事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

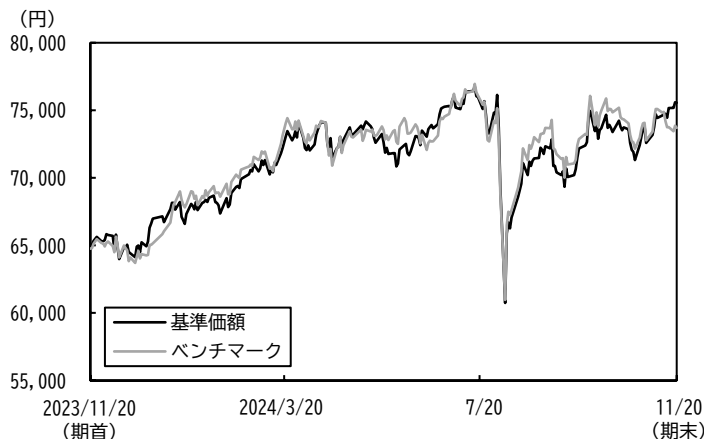
■ 当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | | ベンチマーク | | 株 式 組入比率 | 投資証券 組入比率 |
|---------------------------|---------|-------|----------|-------|-------------|--------------|
| | | 騰 落 率 | | 騰 落 率 | | |
| (期 首) 2023 年 11 月 20 日 | 円 | % | | % | % | % |
| | 64,758 | — | 1,267.94 | — | 96.0 | — |
| 11 月末 | 65,835 | 1.7 | 1,276.17 | 0.6 | 97.3 | — |
| 12 月末 | 66,977 | 3.4 | 1,275.54 | 0.6 | 98.0 | — |
| 2024 年 1 月末 | 68,369 | 5.6 | 1,352.54 | 6.7 | 97.8 | — |
| 2 月末 | 70,479 | 8.8 | 1,387.92 | 9.5 | 97.2 | — |
| 3 月末 | 74,065 | 14.4 | 1,453.56 | 14.6 | 96.8 | — |
| 4 月末 | 73,735 | 13.9 | 1,438.16 | 13.4 | 97.0 | — |
| 5 月末 | 72,094 | 11.3 | 1,444.80 | 13.9 | 97.6 | — |
| 6 月末 | 75,261 | 16.2 | 1,459.12 | 15.1 | 97.1 | — |
| 7 月末 | 76,142 | 17.6 | 1,471.44 | 16.0 | 98.2 | — |
| 8 月末 | 72,340 | 11.7 | 1,442.90 | 13.8 | 97.3 | — |
| 9 月末 | 73,457 | 13.4 | 1,446.67 | 14.1 | 95.5 | — |
| 10 月末 | 73,828 | 14.0 | 1,450.44 | 14.4 | 96.0 | — |
| (期 末) 2024 年 11 月 20 日 | 75,553 | 16.7 | 1,442.89 | 13.8 | 96.1 | — |

(注) 騰落率は期首比です。

■ 基準価額等の推移

当期末の基準価額は75,553円となり、第18期の騰落率は16.7%となりました。



※ ベンチマークは期首(2023年11月20日)の基準価額に合わせて指数化しております。

■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは日本の中小型株式に投資しております。当期は日本株式市場が上昇する運用環境の中、弊社独自の個別調査に基づき、独自の競争力を持ち長期的な利益成長が期待できる企業へ選別投資いたしました結果、基準価額は期首に比べ16.7%上昇しました。

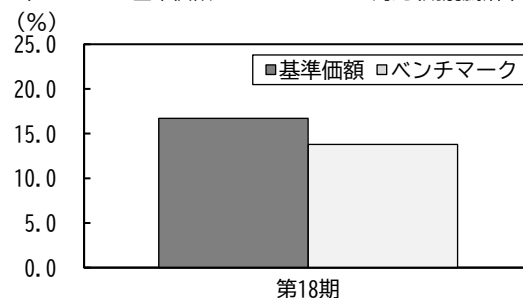
■ ベンチマークとの差異

当期の当マザーファンドの騰落率は16.7%となり、ベンチマークの騰落率の13.8%を上回りました。

ベンチマークとの比較においては、業種効果、銘柄選択効果ともにプラスとなりました。業種単位では機械、その他製品、鉄鋼などがプラスに、サービス業、保険業、非鉄金属などがマイナスに影響しました。

※ ベンチマークは、「ラッセル／ノムラ・ミッド・スモールキャップ指数(配当込み)」です。

当ファンドの基準価額とベンチマークの対比(期別騰落率)



(2023/11/21 ~ 2024/11/20)

(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

■ 投資環境

当期の日本株式市場は、通期で上昇して終了しました。前半は、企業業績の成長や資本効率の改善が2023年に続き進んだことで、大幅に株価が上昇しました。後半は、日銀の利上げに端を発した急落、その後の急反発と、不安定な局面があったものの、終盤は一定の範囲内での推移となりました。

■ ポートフォリオ

当ファンドでは、弊社独自の個別調査に基づき、独自の競争力を持ち長期的な利益成長が期待できる企業へ選別投資いたします。また、市場における過度な悲観や関心の低下により、弊社が計測する長期的な企業価値に対して割安に放置されていると考える企業にも投資を行います。

当ファンドではあらかじめ業種毎の比率を決めてから銘柄を組み入れるのではなく、ボトムアップ・リサーチに基づき投資魅力が高いと考える銘柄を選別し、株価上昇余地やリスク要因、株式の流動性や株価が再評価されるまでの時間軸等を考慮して、ポートフォリオを構築しています。

当期においては、NANDフラッシュメモリ市況回復に伴う業績改善が期待できる関東電化工業、経済が活況な九州エリアで事業を展開し金利上昇の恩恵を受けられる西日本フィナンシャルホールディングス、顧客の利便性を追求しシェア拡大が継続的に可能なトラスコ中山などに投資を行いました。

一方で、サービス事業への転換が進みつつあるNECネットエスアイ、AI(人工知能)半導体の製造に欠かせない装置を製造するTOWA、自動車部品需要の回復が期待された椿本チエインなどの株式を売却しました。各銘柄とも、株価上昇により本源的価値との乖離が縮小したと判断したことが売却の理由です。

(主なプラス要因)

当期のパフォーマンスに貢献した主な銘柄は、武蔵精密工業、NECネットエスアイ、ペプチドリームなどです。

武蔵精密工業は、シャフトやギア等を扱うホンダ系列の自動車部品メーカーです。当ファンドでは、電気自動車向けの新規部品採用により一台当たり単価の上昇が見込まれると判断し投資を行っています。当期においては、新事業として展開するデータセンター向けキャパシタ(コンデンサ)事業の成長期待から株価は上昇しました。

NECネットエスアイは、NEC系の通信工事会社です。当ファンドでは、ネットワークインテグレーションやシステムソリューションなど、提供サービスの付加価値向上に伴い企業価値が向上しているにも関わらず市場評価が低位にとどまっていると判断し、投資を行っています。当期においては、NECによるTOBが発表されたことを受け株価が上昇しました。

ペプチドリームは、ペプチド創業ベンチャーです。当ファンドでは、パイプラインの確度が高く、将来的に大きな利益をもたらすと考え投資を行っています。当期においては、Novartis Pharma社(スイス)とのペプチド創業における提携拡大が発表されたことで株価が上昇しました。

(主なマイナス要因)

当期のパフォーマンスにマイナスに影響した主な銘柄は、五洋建設、わらべや日洋ホールディングス、LITALICOなどです。

五洋建設は、海上土木に強みを持つ準大手ゼネコンです。当ファンドでは、海外の不採算案件の影響が剥落し、国内の旺盛な建設需要を取り込んで業績拡大ができると考え、投資を行っています。当期においては、国内の土木で一部案件が不採算化したことにより業績回復が遅れ、株価が下落しました。

わらべや日洋ホールディングスは、セブンイレブン向けの総菜ベンダーです。当ファンドでは、米国新工場の稼働に伴う事業拡大の余地が大きいと判断して投資を行っています。当期においては、製造コストの上昇や国内セブンイレブンの販売不振により業績が低迷し、株価が下落しました。

LITALICOは、障害者向けの就労支援や児童福祉事業を行う施設を運営する企業です。当ファンドでは、就労支援事業やプラットフォーム事業の成長により今後も業績拡大が見込まれると判断し投資を行っています。当期においては、児童福祉事業の稼働率が低下したことを受け株価は下落しました。

■ 今後の運用方針

対中国半導体規制の強化や、関税強化の方針など、米国による保護主義的政策への懸念が高まりつつあります。日本国内においても、市場予想を上回る経済指標を受けた利上げ観測から円高が進み、製造業は鈍い株価展開となりました。

2025年の賃上げ目標も全体で5%以上、中小企業では6%以上とすることが決定しました。賃上げ原資確保のためにも適正な価格転嫁がより進みやすくなるものと考えられ、賃金と物価の好循環を通じた日本経済の回復は着実に進展していくと考えております。引き続き、ボトムアップ・リサーチを通じ、中長期での業績成長が見込めるにもかかわらず、割安に放置されている銘柄への投資機会を発掘してまいります。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

| 項 目 | 当期 2023年11月21日～2024年11月20日 | | 項 目 の 概 要 |
|-------------------|-------------------------------|----------|-----------------------------------|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料 | 39円 | 0.054% | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| (株 式) | (39) | (0.054) | ・ 有価証券等を売買する際に発生する費用 |
| 合 計 | 39 | 0.054 | |

期中の平均基準価額は71,882円です。

- (注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 期中の売買及び取引の状況 (2023年11月21日から2024年11月20日まで)

株 式

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|-----|-----|----------------|------------------|--------------|------------------|
| | | 株 数 | 金 額 | 株 数 | 金 額 |
| 国 内 | | 千株 | 千円 | 千株 | 千円 |
| | 上 場 | 2,367 (460) | 3,952,233 (－) | 3,698 (－) | 9,404,257 (－) |

- (注1) 金額は受け渡し代金。
- (注2) 単位未満は切り捨て。
- (注3) ()内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 |
|-------------------------------|--------------|
| (a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額 | 13,356,490千円 |
| (b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額 | 17,103,133千円 |
| (c) 売 買 高 比 率 (a) / (b) | 0.78 |

- (注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■ 主要な売買銘柄 (2023年11月21日から2024年11月20日まで)

株 式

| 買 | | | | 売 | | | |
|--------------------|-------|---------|-------|------------------|-------|---------|-------|
| 銘 柄 | 株 数 | 金 額 | 平均単価 | 銘 柄 | 株 数 | 金 額 | 平均単価 |
| | 千株 | 千円 | 円 | | 千株 | 千円 | 円 |
| 関東電化工業 | 364.6 | 327,456 | 898 | NEC ネットエスアイ | 264.7 | 656,158 | 2,478 |
| 西日本フィナンシャルホールディングス | 174.8 | 305,818 | 1,749 | TOWA | 61.7 | 599,411 | 9,714 |
| トラスコ中山 | 108.2 | 258,236 | 2,386 | 椿本チエイン | 125.6 | 592,809 | 4,719 |
| トレジャー・ファクトリー | 198.5 | 255,577 | 1,287 | 九電工 | 97.2 | 559,714 | 5,758 |
| コシダカホールディングス | 281.5 | 255,258 | 906 | アルバック | 65.9 | 527,986 | 8,011 |
| 日産化学 | 52.2 | 254,943 | 4,883 | センコーグループホールディングス | 375.9 | 415,790 | 1,106 |
| カナモト | 89.9 | 254,647 | 2,832 | ベネッセホールディングス | 142.9 | 374,906 | 2,623 |
| L I T A L I C O | 203.1 | 243,939 | 1,201 | シップヘルスケアホールディングス | 143.3 | 339,511 | 2,369 |
| ナプテスコ | 87.6 | 238,507 | 2,722 | ジンズホールディングス | 70.2 | 285,520 | 4,067 |
| 福山通運 | 50.5 | 193,361 | 3,828 | オーエスジー | 137.4 | 282,751 | 2,057 |

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年11月21日から2024年11月20日まで)

(1) 当期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 利害関係人の発行する有価証券等の売買状況及び期末残高

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定する利害関係人です。

■ 信託財産と委託会社との間の取引の状況 (2023年11月21日から2024年11月20日まで)

委託会社が行う第一種金融商品取引業及び第二種金融商品取引業に係る業務において、信託財産との当期中における取引はありません。

■ 委託会社による自社が設定する投資信託の受益証券又は投資法人の投資証券の自己取得及び処分の状況 (2023年11月21日から2024年11月20日まで)

該当事項はありません。

■ 組入資産の明細 (2024年11月20日現在)

国内株式

| 銘柄 | 期首 (前期末) | 当期末 | |
|-----------------|-------------|-------|---------|
| | 株数 | 株数 | 評価額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| 建設業(3.9%) | | | |
| 日本アクア | 150.5 | — | — |
| 五洋建設 | 575 | 575 | 357,880 |
| 九電工 | 148.1 | 50.9 | 263,916 |
| 食料品(3.1%) | | | |
| アリアケジャパン | 67.8 | 60 | 319,200 |
| わらべや日洋ホールディングス | 56.3 | 87.1 | 175,680 |
| 繊維製品(1.1%) | | | |
| 富士紡ホールディングス | 46.2 | — | — |
| オンワードホールディングス | 440.8 | 325.5 | 168,283 |
| 化学(11.1%) | | | |
| 日産化学 | — | 52.2 | 282,871 |
| 関東電化工業 | — | 364.6 | 362,777 |
| 東京応化工業 | 44.4 | 74.4 | 260,400 |
| ダイセル | 260.4 | 257.1 | 340,271 |
| 住友バークライト | 50.9 | 71.6 | 273,512 |
| ライオン | — | 126.8 | 231,029 |
| 医薬品(1.9%) | | | |
| ペプチドリーム | 141.5 | 117.8 | 301,096 |
| ガラス・土石製品(1.2%) | | | |
| ノリタケ | 15.8 | — | — |
| ニチハ | 62.5 | 62.5 | 184,125 |
| 鉄鋼(—%) | | | |
| 共英製鋼 | 61.1 | — | — |
| 金属製品(4.0%) | | | |
| RS Technologies | 64.8 | 78.1 | 272,178 |
| ジーテクト | 104.6 | 88.7 | 140,944 |
| 東プレ | 179.1 | 115 | 227,585 |
| 機械(10.4%) | | | |
| オーエスジー | 137.4 | — | — |
| NITTOKU | 183.4 | 183.4 | 340,390 |
| やまびこ | — | 40.3 | 101,596 |
| ナプテスコ | — | 87.6 | 208,137 |
| ホソカワミクロン | 53 | — | — |
| 日精エー・エス・ビー機械 | 87.7 | 68.1 | 353,439 |
| 技研製作所 | 23.1 | — | — |
| TOWA | 70.8 | 27.3 | 43,953 |
| 月島ホールディングス | 157.8 | 157.8 | 232,123 |
| 帝国電機製作所 | 72.4 | — | — |
| 椿本チエイン | 114.4 | — | — |

| 銘柄 | 期首 (前期末) | 当期末 | |
|-------------------|-------------|-------|---------|
| | 株数 | 株数 | 評価額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| タダノ | 394.9 | 312.5 | 364,687 |
| マックス | 34.2 | — | — |
| グローリー | 42.1 | — | — |
| PILLAR | 22.4 | — | — |
| 電気機器(6.7%) | | | |
| ダイヘン | 54.8 | 49.3 | 352,988 |
| アルバック | 90.9 | 25 | 156,600 |
| エレコム | — | 56.3 | 81,353 |
| 日本光電工業 | 150.6 | 172.4 | 376,607 |
| オプテックスグループ | — | 56.3 | 96,948 |
| 輸送用機器(3.1%) | | | |
| 武蔵精密工業 | 168.3 | 142.5 | 488,062 |
| その他製品(5.3%) | | | |
| パラマウントベッドホールディングス | — | 67.5 | 171,990 |
| 前田工織 | 216.8 | 355.2 | 662,092 |
| 陸運業(4.1%) | | | |
| SBSホールディングス | 78.2 | 78.2 | 187,680 |
| 京阪ホールディングス | 79.1 | 79.1 | 281,437 |
| センコーグループホールディングス | 375.9 | — | — |
| 福山通運 | — | 50.5 | 175,235 |
| 情報・通信業(9.3%) | | | |
| NECネットエスアイ | 386.8 | 122.1 | 401,709 |
| 三菱総合研究所 | 65.4 | 47 | 203,510 |
| マクロミル | 324.6 | 212.6 | 252,356 |
| くふうカンパニー | 272.6 | 272.6 | 57,791 |
| ラクスル | 123.7 | 123.7 | 143,244 |
| ウイングアーク1st | 56.5 | — | — |
| フューチャー | 177.7 | 158 | 305,414 |
| シーイーシー | — | 53.3 | 110,331 |
| 卸売業(3.0%) | | | |
| シップヘルスケアホールディングス | 143.3 | — | — |
| シークス | 230.5 | 37.7 | 42,676 |
| キャノンマーケティングジャパン | 40 | 40.8 | 193,800 |
| トラスコ中山 | — | 108.2 | 239,122 |
| 小売業(7.2%) | | | |
| ジンズホールディングス | 70.2 | — | — |
| J. フロント リテイリング | 245.7 | 209.7 | 358,691 |
| トレジャー・ファクトリー | — | 181.9 | 232,286 |
| コスモス薬品 | 23.5 | 47 | 318,049 |
| サイゼリヤ | 75.8 | 41.7 | 219,342 |

| 銘 柄 | 期 首 (前期末) | 当 期 末 | |
|--------------------|--------------|-------|---------|
| | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| Genky DrugStores | — | 4.6 | 14,237 |
| 銀行業(4.3%) | | | |
| 西日本フィナンシャルホールディングス | — | 174.8 | 345,754 |
| 武蔵野銀行 | 102.1 | 118.4 | 332,585 |
| 保険業(—%) | | | |
| ライフネット生命保険 | 88.7 | — | — |
| 不動産業(1.6%) | | | |
| トーセイ | 106.9 | 106.9 | 250,466 |
| サービス業(18.7%) | | | |
| コシダカホールディングス | — | 281.5 | 331,607 |
| 学情 | 68.4 | 111.7 | 192,570 |
| アウトソーシング | 170.6 | — | — |
| バリューコマース | 230.3 | — | — |
| アミューズ | 58.1 | 58.1 | 78,841 |
| イオンファンタジー | 118.3 | 82.8 | 245,253 |
| サイバーエージェント | 223.3 | 285 | 290,842 |

| 銘 柄 | 期 首 (前期末) | 当 期 末 | |
|---------------|---------------|-------|---------|
| | 株 数 | 株 数 | 評 価 額 |
| | 千株 | 千株 | 千円 |
| クリーク・アンド・リバー社 | 92.4 | 92.4 | 144,975 |
| LITALICO | — | 203.1 | 188,679 |
| リログループ | 172.9 | 229.9 | 389,335 |
| TREホールディングス | 236.2 | 236.2 | 390,674 |
| INFORICH | 36.9 | 44.6 | 238,610 |
| カナモト | — | 89.9 | 246,236 |
| 丹青社 | 276.7 | 276.7 | 225,510 |
| ベネッセホールディングス | 142.9 | — | — |
| 合 計 | 株 数 ・ 金 額 | 9,439 | 8,569 |
| | 銘 柄 数 < 比 率 > | 67 銘柄 | 64 銘柄 |
| | | | <96.1%> |

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

■ 有価証券の貸付及び借入の状況 (2024年11月20日現在)

該当事項はありません。

■ 投資信託財産の構成 (2024年11月20日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|-------------------------|------------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| 株 式 | 15,821,581 | 95.5 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 747,096 | 4.5 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 16,568,677 | 100.0 |

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年11月20日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|----------------------|------------------|
| (A)資 産 | 16,568,677,965 円 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 | 437,751,345 |
| 株 式(評価額) | 15,821,581,550 |
| 未 収 入 金 | 189,363,601 |
| 未 収 配 当 金 | 119,980,150 |
| 未 収 利 息 | 1,319 |
| (B)負 債 | 104,225,816 |
| 未 払 金 | 26,754,642 |
| 未 払 解 約 金 | 77,471,174 |
| (C)純 資 産 総 額 (A - B) | 16,464,452,149 |
| 元 本 | 2,179,183,714 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | 14,285,268,435 |
| (D)受 益 権 総 口 数 | 2,179,183,714 口 |
| 1万口当たり基準価額 (C / D) | 75,553 円 |

< 注記事項(当期の運用報告書作成時には監査未了) >

1. 期首元本額 3,042,858,631 円
期中追加設定元本額 345,299,237 円
期中解約元本額 1,208,974,154 円
2. 期末元本の内訳
スパークス・M&S・ジャパン・ファンド 2,027,843,764 円
スパークス・日本中小型株式ファンド(ラップ向け) 151,339,950 円

■ お知らせ

該当事項はありません。

■ 損益の状況

当期 (自2023年11月21日 至2024年11月20日)

| 項 目 | 当 期 |
|------------------------|-----------------|
| (A)配 当 等 収 益 | 399,384,853 円 |
| 受 取 配 当 金 | 399,378,590 |
| 受 取 利 息 | 182,944 |
| そ の 他 収 益 金 | 6,360 |
| 支 払 利 息 | △ 183,041 |
| (B)有 価 証 券 売 買 損 益 | 2,362,077,201 |
| 売 買 益 | 3,235,700,908 |
| 売 買 損 | △ 873,623,707 |
| (C)当 期 損 益 金 (A + B) | 2,761,462,054 |
| (D)前 期 繰 越 損 益 金 | 16,662,121,789 |
| (E)追 加 信 託 差 損 益 金 | 2,059,549,484 |
| (F)解 約 差 損 益 金 | △ 7,197,864,892 |
| (G)合 計 (C + D + E + F) | 14,285,268,435 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (G) | 14,285,268,435 |

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。